

翔 飛

(題字:森 須美子 会員)

シルバーはまだ 35号

2019年(令和元年)9月30日発行

編集発行

公益社団法人 浜田市シルバー人材センター
浜田市港町277番地

TEL0855-23-4680 FAX0855-23-6086



石州浜っ子春まつり (平成31年4月29日大名行列)

新役員紹介

(令和元年六月十八日)

理事長 小谷 典弘

副理事長 小松原 俊行

常務理事 佐々木 章

理事 宮崎 正臣

大谷 克雄

美浦 美樹

栗原 宏治

笹原 典子

生和 茂美

前木 俊昭

小澤 孝子

松尾 俊和

湯浅 明百美

(任期 令和三年度
定時総会の日まで)

事務局

事務局長 山本 博

総務係長 原田 昌弘

主事 小出 優子

嘱託職員 山本 佳史

臨時職員 岡本 恵子

やさか支部 永野 純子

ご挨拶



公益社団法人

浜田市シルバー人材センター
理事長 小谷 典弘

令和元年度の定時総会にあたり一言ご挨拶申し上げます。本日は、皆様お元気で総会に出席頂き、また、平素はシルバー人材センターの事業運営にご尽力賜り心より感謝申し上げます。

本日の総会には、議会前の大変お忙しい中、浜田市長様代理前木健康福祉部長様、川神浜田市議会議長様にご出席を頂きました。

また、先程は正会員として20年の長きにわたりご貢献頂きました門脇吉郎様、波多照雄様、佐々木清子様、佐々木敬子様、4名の方の表彰をさせて頂きました。改めて会員の皆様とともに心よりの感謝とお礼を申し上げたいと思います。有難うございました。

シルバー人材センターの全国状況ですが、平成30年度において全国シルバー人材センター事業協会は、平成26

年度から取り組んだ「会員100万人達成計画」の分析と評価を踏まえ、平成30年度から36年度までの7年間を計画期間とした「第2次会員100万人達成計画」を策定し、令和2年度末には80万人達成としています。団体数1,325団体(+2)、会員数714,000人(△2%)、契約金額3,166億円(+0%)となっております。会員は減少傾向にあります。

島根県の状況は、会員数4,036人(+116人)で鹿児島県、和歌山県に次いで全国3位の増となっております。新たに隠岐の島町にシルバー人材センターが設立されました。浜田市の状況は、会員数、契約金額とも減少傾向となっております(浜田市は別表を参照)。

少子高齢化が進展し、働き手確保は難しく、雇用延長、定年延長、外国人労働者の増大等が進み、高齢者の就業環境は一段と厳しくなっています。このためシルバー人材センターの魅力を高め、会員の拡大を図り、地域での存在感あるものにする事が問われています。

本日の総会を機に、今までの事業の洗い出し、点検を行い、積極的な営業と、会員一人が一人の新会員の獲得に取り組みむことを目指し、「安全は自分で守ることを自覚し、事故ゼロを目指す」、さらに共助の精神で取り組むことをお願いし、ご挨拶いたします。

ご祝辞



浜田市長

久保田 章市様

浜田市シルバー人材センターの皆様には、日ごろより市政各般に亘り、温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

また、平素から地域の幅広い業務に應えられ、地域社会の担い手としてご尽力いただいておりますことに、深く敬意を表しております。

さて、今年元号が令和に改まり、合わせて浜田市は浜田開府400年を迎える記念すべき年となっております。浜田市は、この節目の年を更なる飛躍の契機ととらえ、浜田の歴史や文化を振り返り、未来の子どもたちに繋ぐ新しい浜田市の施策に取り組んでまいります。

令和となりましても、全国的に少子高齢化や人口減少、労働力不足による

雇用問題など、依然として重要な課題が山積しております。浜田市におきましては、3人に1人が高齢者という状況ではありますが、年齢に関係なく働くことができる生涯現役社会を目指し、高齢者の意思と希望を尊重した就業機会があるシルバー人材センターの期待はますます高まっております。

シルバー人材センターは、「自主・自立・共働・共助」の理念に基づき、会員皆様の総意と主体的な参画により運営されており、引き続き、その豊富な経験や知識を活かされて、浜田市の発展にご尽力を賜りますよう心からお願いを申し上げます。

結びに当たりまして、浜田市シルバー人材センターのますますのご発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



総会報告

◆令和元年度定時総会

令和元年六月十八日（火）

浜田市総合福祉センター

議事

報告事項

平成三十年度収支補正予算、令和元年度事業計画、収支予算

決議事項

平成三十年度事業報告、決算、監査報告、会費規程の改正、役員選任

会員表彰（正会員在籍20年）

門脇 吉郎 様
波多 輝雄 様
佐々木 清子 様
佐々木 敬子 様

総会前に石田隆会員を講師に会員研修会を行い、続いて、これまで長くご尽力いただいた会員表彰が行われました。

開会行事では前木俊昭健康福祉部長（浜田市長代理）、川神裕司市議会議長からご祝辞をいただきました。

総会は、松本一美総会議長により審議が進められました。

議長 熱田町 松本一美氏



質疑応答

奥田望会員が、会員を増やすことが大事と思うが、会員それぞれ一人の新規会員確保の目標をたてて行動すればよいと思う。また、会員が近所などにパンフレットを配って受注の努力をするということはどうか。また、会員研修旅行について、会員の親睦を図ることと良いことと思うが、二年に一回でも一泊二日の旅行を計画したらどうかと発言がありました。

また、新田豊会員が、規程や定款は会員には配られていない。会費規程改正が提案されはじめて規程をみたが会費の徴収の方法が記載されていない。実情は、本人の了解なしに配分金から天引きされているがどういふことか、また、規程等わかるようにしてほしい、また、受託の範囲を広げるといふことで、石見海浜公園の清掃作業があるが、会員にもできるといふので話をしてみてもどうかと発言がありました。

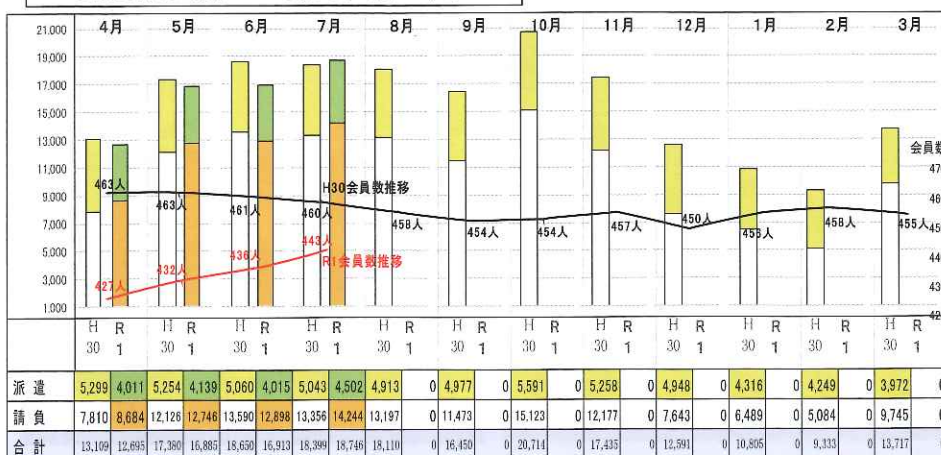
答弁

山本事務局長が、奥田会員の質問に対し、会員拡大が大きな目標で同時に就業先を広げることが重要である。事務局だよりを通じて、ロコミ運動とシルバーのパンフレットも同封しながら会員に周知と共にお願いしていきたい。また、会員研修旅行は、今のところ日帰り希望の方が多いと思われる、実行委員会でも議論し決定したと答弁しました。

また、山本事務局長、佐々木常務理事が、新田会員の質問に対し会費を配分金から天引きしてほしいという会員の要望を受けて、平成二十八年度総会で決定し、以後、天引している。派遣会員は県連合会所管で行っていない。



会員数、実績及び対前年実績比較表



規程や定款を会員に配ることは量も多く行うことは難しい。事務所で閲覧できるのでいつでも見に来てほしい、また、海浜公園は島根県の指定管理で業者が請け負っており、シルバーは入れないが、以前、業者から作業を手伝ってほしいと依頼があり行った経過はありと答弁しました。

会員研修会

演題 「安全就業について」

事故防止は自己管理

講師 石田 隆 様



講師は
シルバー
会員の石
田さんで
島根あさ
ひ社会復
帰促進セ

センターにおいて訓練生に対する職業訓練の講師として就業していただいています。

現役時代に培った知識と経験とともに、地道な努力を重ねられ講師という仕事に励んでおられます。

研修会の内容も、人それぞれが経験や体験から誰もが陥りやすいミスや事故、また自己管理の必要性について、分かりやすく具体的にお話いただき、大変貴重な時間となりました。

誰もが歳とともに心・技・体のおとろえがあり、思い込み、焦り、感情の乱れ、注意力の低下などからミスや事故が起こる。

高齢者だからこそ、運動や楽しいこと、やればできそうなことなど常に新しいことにチャレンジする気持ちが大切であるなどのお話をいただきました。



新役員あいさつ



監事 湯浅 明百美

このたびの定時総会におきまして監事に選任いただきました浜田市会計管理者の湯浅です。定時総会では、会員の皆様の様々な事業へ取り組まれる熱心なご様子に接し、大変感銘いたしました。

また、豊富な経験を活かした様々な受託事業に加え、農園事業、ボランティア活動等魅力的な事業内容に、シルバー人材センターの基本方針及び目的を着実に達成しておられると感じたところでございます。

会員皆様のご活躍に敬意を表しますとともに、皆様の事業推進が一層図られますよう監事としての責務を果たしたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



襖障子張替講習会



イズミ品出し



健康福祉フェスタ



城山清掃



草刈



柿摘果



清掃スタッフ講習会



看護学校祭フリーマーケット



派遣キャリアアップ講習会



医療センターボランティア活動



研修旅行



発泡スチロール溶解作業



セブンイレブン販売



金城カントリー洗濯

シルバー人材センター会員 活動紹介

れんげ保育園園児とのふれあい活動



割れるかな？

わあ〜！大きいなあ〜

あ〜オタマジャクシみ〜つけた

これがお芋の苗ですよ！

たくさんお芋なあ〜れ



海の見える文化公園草取



室内清掃



看護学生とシルバー会員との交流会

会員の広場



在籍二十年
会員表彰
代表謝辞

門脇吉郎さん
平成十一年度
入会

在籍二十年の思い出

光陰矢の如しと申しますが、早いもので、私がセンターに入会して二十年が過ぎました。思い出せば、先輩がグラウンドゴルフを一緒にしないかと誘われたことが入会のきっかけでした。スポーツが大好きな私は早速仲間を連れて入会し、新しい種目の楽しさもあって充実した日々を過ごすことができました。

仕事の内容は草刈りや列車の乗降客調査、高速バスの整理券配りなど体力が必要なものが多くありましたが、あまり苦勞を感じることはありませんでした。

この度在籍二十年を迎えることができましたのは職員、先輩、同僚のご協力があったものと深く感謝申し上げます。

今後も地域に愛され利用される会として益々発展されることを心より、記念いたします。



佐々木千代子さん
平成二十三年度
入会

仕事に興味と充実人生

シルバー人材センターに興味を感じましたのは今までに経験した事のない仕事に出会える期待と、不安もありましたがシルバーという言葉に甘え自分が挑戦出来るのはこの場所だと思い即入会させて頂きました。

今までに一番印象に残っている仕事はJRの乗降調査です。

昨年3月31日に廃線になった三江線のコース。雄大な川と湖、江の川へ続く浜原ダム、浜原大橋、列車待ち合わせのため2時間駅で待機することでしたが、仕事を兼ねて最高の思い出になりました。

同好会は健康でいるためにグラウンドゴルフを選びました。会員のプレール中は一打一打が真剣です。激励を飛ばしながら穏やかな雰囲気競技が進みます。また、浜田市GG協会の会員さんとの交流もあり仲間の輪が広がり楽しく参加させて頂いています。

最後に皆様のご健康を心から祈り致します。



前田政昭さん
平成二十九年
入会

「はじめまして!!」

六年前の七月、四十一年間勤めた公務員生活にピリオドを打ちました(定年より一年早く)。

退職前は、リタイアしたら畑を借りて家庭菜園的なことをやろうと考えていましたが、退職時期のあまりの暑さで行動開始とならず。

シルバーで草刈(家の周りとかで多少の経験あり)をするのがいいなあと考えていましたが、ほどなく父親の在宅介護が始まり、気ぜわしい日々を過ごしていました。

父親を送り、多少ゆとりができたので、ようやく入会説明会へGO!先輩会員のSさんから草刈りなどの指導を受け、半人前からようやく0.8人役くらいまでにはなつたかなあ?と思う今日このごろ。先日、某クリニックに肘の治療に行き「シルバーで草刈機を使っています。」と話す、「エッ!シルバーって、七十〜八十代の人がやっつとるんじゃないの?」とおっしゃる。ちなみに、当方66歳です。シルバーをあまり知らない人いるんですね。

現在は「海のみえる文化公園」で、週二回草刈をやっていますよ。



鈴木尚さん
平成三十年
入会

シルバーは毎日が歴史の勉強の場

現在ハウス野菜、米作り農業をしています。もう少し安定した収入があればと思っている所に、シルバー人材センターの看板が目に入り訪ね、説明を受けると仕事はあるので数日待つて下さいとの事。一週間ほどして電話があり現場に案内され、まもなく就業できました。

早いもので一年が過ぎました。

六十歳を過ぎてゲートボール、カラオケ、その他ありますが、私の趣味、遊びはバイクツーリングで、もう半世紀になり日本全土回りましたが、まだまだ走ります。毎日出来ませんがスポーツも好きでやっています。今の所身体が健康とはいえませんが、通院等していません。

住まいが弥栄町なので市内の様子が分かりませんが、歴史があり作業で回るのが楽しみです。行程の覚えが悪くしばしば足手まといになっていますが、なんとか皆様に助けてもらい毎日機械に火を入れて担いで消毒作業をしています。

会員募集

※入会の声掛け運動推進中

声掛けが入会に繋がった場合、紹介者に粗品進呈（市ゴミ中袋2本）

※ゴールド会員制度スタート

85歳以上の年会費は、今年度から半額の一〇〇〇円となりました。

地域の高齢化と少子化による労働力人口の減少や会社等の定年延長制度もあり有効求人倍率が依然として高く、労働力不足の状況が続いています。

このことから会社等からシルバー派遣の依頼も増えていますが、シルバーもこういった影響を受け入会会員が減少しており、また、会員の高齢化とともに体調などから退会する方が増えています。（昨年度入会42名、退会者57名で計マイナス15名）

会員の入会の声掛け運動に取り組んでいます。新会員入会はやはり知人友人等からの声掛けによるものが大変効果的です。ちなみに4月から7月までの入会者は34名で、その内紹介によるものが22名で、実に65%の入会者が声掛けによるものです。

会員の皆様のご協力に感謝を申し上げます。引き続き、周囲の方に更なる入会の声掛けをお願いします。



安全就業を推進



安全就業パトロール

安全就業について

安全部会長

小松原 俊行

日本の人口は平成21年から減少傾向をたどり企業も人手不足となりがちで、定年延長、再雇用、派遣職員等で人材確保に力を入れております。地方では人口流出が止まらず地域の疲弊が懸念されております。浜田市も例外ではなく、人口減少と高齢化が進み労働力不足となっているのが現状です。

当浜田市シルバー人材センターも会員数の減少が起きており地域の要望（需要）に応えられなくなりつつ

あります。現会員は年々高齢化しているのにも関わらず、作業量は増加傾向にあるためです。限られた人数で業務量を消化しようとするところ、オーパーワークに陥ります。このオーパーワークが安全就業を脅かす源です。昨年、一昨年の会報でも安全就業についてお願いしていますが、事故は減少していません。



事故件数推移

年度	剪定	草刈
26	4	12
27	3	2
28	3	7
29	3	8
30	3	5

右表は剪定、草刈に限定した物ですが、その他自動車事故や傷害事故もあり年10数件発生しております。これらの事故については、保険で対処しておりますが会員同士の事故の損害までは補償しておりません。

就業途中の事故や共同作業、一人での作業、派遣先の作業等、多様な

環境での就業となりますので、安全就業については個々の会員に委ねられております。

これまで出来ていた作業も年々体力が衰えてきていることに気付かず、に事故につながるケースもあります。常に自己の体調、体力を認識して、無理な作業をしないことが一番の防止策と考えます。

草刈、剪定作業については今年度より作業前の安全点検表に基づくミーティングを行っており、その徹底を図っていただきたいと思えます。会員一人一人の意識の向上で事故防止、安全就業を心掛け、事故ゼロを目指しましょう。



